

てんびん

ガイド だより

近江八幡観光ボランティア
アガイド協会 広報部
TEL 0748-33-6061
FAX 0748-32-4125
近江八幡駅北口観光案内

「「阪急たびコト塾」で観光PRしてきました」

近江八幡観光ボランティアアガイド協会

会長 平松 清廣

いつも、当協会に対し格別なるご支援を賜り誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

さる九月三日、大阪梅田阪急グランドビル三十階にある阪急交通社で同社主催の「阪急たびコト塾」に「近江商人の商売の極意「三方よし」を生んだ近江八幡物語」近江八幡の観光ボランティアアガイドが「案内」と称した講座を実施してきました。

「阪急たびコト塾」では今までも何回か近江八幡観光物産協会が近江八幡の観光PRをされてきたところですが、今回は私たちにその出番が回ってきたものです。

事前の情報で、申し込みが定員の六十名を超えてキャンセル待ちが四十名いると聞いて、責任の重さと緊張をしながら紙芝居の舞台（結構大きくて重い）を積んで車で向かいました。場所は、大阪駅前の阪急百貨店の隣で、とにかくカーナビを頼りに何とか到着して「ほっ」としました。

当日の講演の流れは三部構成になっています。

(一部) 平松によるバーチャル観光ガイド

(二部) 熊木さんと出口さんによる観光紙芝居

(三部) 清寿屋さんによる丁稚羊羹の紹介・試食

さて、いよいよ予約のお客様が会場にどんどんと来られているのを見ると、だんだんと緊張が高まってきました。いつもの観光ガイドですと、どなたにお会いできるか楽しみでむしろワクワクするんですが、今回は机の配置がスクール形式での講座ですので、もとは勝手が違います。

バーチャル観光ガイドとは、プロジェクターを使って新町通りから日牟禮八幡宮までの映像を見てもらいながらご案内をする、というものです。

実際のガイドですと、一緒に移動をしながら実際の景色・実物を目の当りにしてお話をしますので、お客様は自然に理解をしてくださいます。

しかし、今回は限られた映像でのやや仮想的空間的なご案内という事で、いつもの反応が読み辛く少し戸惑いました。しかし、みなさん何とか熱心にお聞き頂きました。



続いては「観光紙芝居」です。

熊木さんの名調子で近江八幡の観光全般を語り、絶妙なタイミングで出口さんが紙芝居をめくって行きます。さすがにお客様も紙芝居の世界に引き込まれ、見入っていました。

最後は品の良い甘さの丁稚羊羹を試食されて満足の様子でした。目と耳と舌で、近江八幡を大いに堪能されたのではないかと思います。

アンケートにも「近江八幡に行きたくなった」との嬉しいコメントを頂きました。

私たちの観光ミッションを無事終えることができ、この様な機会を頂いた近江八幡観光物産協会様に感謝いたします。

“近江八幡を訪ねてよかった。もう一度訪ねてみたい。”と思われるガイドを、そして地域の皆様方の思いを大切にされたガイドを引き続き心掛けてまいります。

長命寺内陣特別拝観が公開されました

長命寺本堂内陣の“熊野勸心十界曼荼羅”

ガイド研修に参加して

小島 可奈子

今年の夏は異常気象で酷暑が続く毎日ですが、八月六日午後二時過ぎから、長命寺内陣において、熊野勸心十界曼荼羅”についての研修がありました。講師の山本様は、汗だくになりながら勸心十界曼荼羅を個々に丁寧に絵解きしてくださいました。

熊野比丘尼が熊野勸心十界図と那智参詣曼荼羅を携えて、天上界、地獄、餓鬼、畜生、六道等が描かれた絵図を使って、人間の生死、又、死後の世界と救済を語り聞かせるために全国を渡り歩いたものだと思います。

熊野勸心十界曼荼羅は熊野比丘尼の研究者が便宜的につけた名称だそうです。

熊野勸心十界曼荼羅は老いの坂図と勸心十界図を組み合わせたもので“老いの坂図”は人の一生を山登りに例えた図で夫婦、赤子、壮年と最後に墓地にたどり着くという図になっていました。昔の僧はきつと話し上手で人を魅了するものを持っていたのだろう。だから人気もあり、寄付も快くしたであろうと思います。

勸心十界曼荼羅は中心に“心”が描かれそこから赤い十本の縦線が伸びて人間は心の持ち様で何処にでも行けることを表しているのだそうです。

はたして自分の人生はどうであろう、良いか悪い

か少々不安や怖さを感じました。施餓鬼供養をすれば子孫繁栄につながると説法していた僧達は先見の明があり人徳を得たことでしょうか。だから寺院再興が実現出来たと思えました。この勸心十界曼荼羅は絵解きを聞く程面白く、興味がわきました。

今秋にガイドしなければならぬのですが、その時までにはほんの少しでも開眼？できる様、お客様の心に伝えられるようにしたいと考えながら帰路に着きました。

とても良い研修でした。



長命寺内陣特別拝観のご案内を担当して

中出 康夫

十月二十一日から始まった西国札所草創“千三百年”の記念として、西国札所三十一番札所「長命寺」では、通常は非公開の本堂内陣が公開され、長命寺参詣曼荼羅、熊野勸心十界曼荼羅をご覧いただくことになっております。近江八幡観光ボランティアガイド協会が長命寺をご案内することも今年で三年目を迎えます。

私は十一月三日が今年初めての担当になり朝八時二十分頃に境内に到着しましたが多くの参拝者があり驚かされました。担当が四名で内陣を拝観されるお客様をご案内させていただくのですが最初の四名様に追加で六名様と追加が続き、内陣の説明をする前にお客様に順次お参りをして頂き落ち着くのを待つて内陣にお参りしてある御仏の説明を進めることになりました。内陣を後にして各仏様、神様がまつられている回廊を通り抜けて長命寺参詣曼荼羅図の前で重要文化財に指定されている物で同じものがスイスにも一つあることや図に描かれている人物の様子、当時の境内の様子、比丘尼、山伏、勸心聖、お坊さんが全国を旅して長命寺再興の寄進を求めた等の説明をいたしました。隣の熊野勸心十界曼荼羅図も重要文化財であること、図中には老いの坂図と十界図が描かれており、老いの坂図では生まれて成人し、年老いて

死んでゆく姿が現されおりその時その時を大切に生きないと人生は後戻りできない、春、夏、秋、冬と季節は巡るが戻ることはないという教えが描かれていることを説明、十界図では盂蘭盆に施餓鬼供養をすることによって地獄で苦しむ人が救われるとの教えを説明しました。

午前中だけで五十名弱のお客様をお迎えして非常に忙しい思いをいたしました。私は四グループのお客様をご案内しましたが内陣で経文を唱えられ長らく席を立とうとしないお客様、お前立の千手十一面聖観音像を近くで見ても感激されるお客様、お預かりの内の七観音像がお寺に祀られていたのか、豊かな家に祀られていたものか議論されるお客様、長命寺参詣曼荼羅図を見て比丘尼はなぜ全国を回って寄進を集める行動をしたのかと疑問を抱かれるお客様、熊野勸心十界曼荼羅図の両婦地獄を見てご主人に貴方は大丈夫と聞かれる奥様とご一緒のお客様等々いろいろなお客様とお会いすることができました。日頃宗教について考えることが少ない私ですが参詣にお出でになったお客様から伺うお話で、もう少しは仏様の御教えを学ばないといけないと反省させられた一日でした。



八幡堀まつりに協賛しました

八幡堀まつりのボランティア

塩山 耕司

紙芝居や八幡堀まつりのボランティアに協力いただき感謝の気持ちでいっぱいです。今年は昨年よりお客様が多く盛況だったと思います。我々のボランティアガイド協会の方達だけでなく、若いボランティアの方も多く、その甲斐が実ったようにも思います。

ただ、我々の参加メンバーも恒常化してきているのが気になります。また、もう決して若くない方(???)も多くなってきたており、夜の巡回はいつも通り慣れた石畳とはいえ、危険が伴いますので注意が必要です。若い人が酒に酔ったせいとか、堀にはまった方もおられました。最後の灯り回収には新町通の「E」回収の担当と、主催者側の配慮を頂いていることはありがたいと思いました。

ボランティアは、「自発性・社会性」と「無償性」が言われますが、五月の連休や左義長祭りの街角ガイド等、恒常的な企画に対しては、継続性の問題から「実費弁償範囲内」の交通費(いつもの半額程度)の支給を考えなくてはならないと思っております。その資金源として「円ふれあいハイキング」を私は位置づけているのですが成功させたいものです。

年を取るにつれ、「教育」と「教養」が必要、間違えました、「今日行く(所がある)」と「今日用(がある)」が必要と思つて、ボランティア活動等何か用を作る努力をしています!?!?



八幡堀まつり 協賛 紙芝居上演

吉田 輝雄

十月十三日(土)、十四日(日)に開催された「八幡堀まつり」において、私達「近江八幡観光ボランティアガイド協会」は、「灯り管理」、「紙芝居上演」で協賛しました。その中で、好評を得た「紙芝居上演」について報告します。

「紙芝居上演」は、旧伴家住宅において十三日(土)夕方六時から八時までの予定で「秀次さんと近江八幡」、「しらさぎのおんがえし」、「名



まえを変えた小僧さん」の三作品を上演しました。

紙芝居チームは事前に役割を決め、練習を重ね、この日に備え、当日は案内チラシと子供さん用の「あめ」を白雲館前と旧伴家住宅前で配布し、お客さんを案内しました。六時から二回の上演を予定していましたが、多くのお客さんに来ていただき立ち見のお客さんもおられ、さらに紙芝居途中から来られたお客さんの要望に応え三回目の上演をし、合計で一三八名のお客さんに見ていただきました。紙芝居の途中で声を出して笑っていただける場面もあり、「面白かった」、「楽しかった」、「もっと見たい」という感想もいただきました。



新賛助会員様のご紹介をします

当歯科医院の歯科治療の特徴

- 歯の「咬み合わせ」を改善して、次のような不定愁訴を治すこと
 - ……いびき・はぎしり・肩こり・首のこり・頭痛・眼がつかれる・腰痛・耳なり・めまい・心身症・不眠など
 - 歯科用金属アレルギー由来の治りにくい皮膚病・花粉症・リウマチ・ぜんそく・鼻炎など
 - 歯が数本しかなくても、インプラントや入れ歯ではない、患者さんの望まれる良い治療が出来る可能性が大いにあります
 - どうしても合わない入れ歯を優良な入れ歯で、入れ歯の悩みを解消すること
 - 小さい子どもさんで歯科治療が大変いやがる幼児の子供さんでも、上手に治せる経験があります
 - 歯周病という加齢に伴う歯ぐきの病気に對して、レーザー治療が大変有効です。そのレーザー治療を行っています
 - とにかく、最良の診断・最良の説明・最良の治療を、開業以来、当歯科医院のモットーとして、歯科治療に励んでいます
- 松橋歯科医院のホームページもご覧下さい
<http://www.keio-dental.com/>

松橋歯科医院

院長 松橋正宗(洋一)

JAグリーン近江

ファーマーズマーケット きてかーな

ファーマーズマーケット きてかーなは、平成二六年七月十六日 近江八幡市多賀町にオープンさせていただきました。おかげさまで今年九月十四日に、オープンからレジ通過数百五十万人を超える来店者を向かえることができました。これも偏に地域の皆様のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

きてかーなの売り場には、採れたての野菜・果物が数多く並びます。地元の農家さんが朝一番に運び込むので、毎日新鮮です。「採れたてのおいしさを届けたい」。きてかーなの商品には、そんな農家さんの気持ちが詰まっています。また季節によって出回る商品が変わるので、「旬」の味が楽しめます。地域で生産された物を地域で消費することを地産地消と言います。きてかーなは、野菜や果物、近江米、近江牛などの生鮮品をはじめ、加工品も地元の食材にこだわっています。

きてかーなでは、農と食を結ぶ「地域と密着するファーマーズマーケット」をスローガンに、これからも地域に愛されるファーマーズマーケットをめざします。

JAグリーン近江 営農事業部特産課

ファーマーズマーケットきてかーな

店長 福田 義裕



新しい仲間を紹介します

村井 達郎

この夏より、近江八幡観光ボランティアガイド協会に入会させて頂きました。

六五歳で仕事を終え、何をしようかといろいろ考えつつ、あちこち旅行をしたり、近江八幡のオヤジ連、ワイン会、寺田稔先生のスケッチ会等いろんな会に首を突っ込んだりしているうちに二年が経ちました。

そんな時、新聞にガイド募集の案内を見つけ、最初はどうかと迷いつつも応募した次第です。



定年後は一人旅をする事が多くなり、行く先々で現地のガイドの方々にお世話になりましたので、今度は逆に旅行されている方に喜んでいただくかと思つたのも一因です。しかし、ガイドを受けるのと、ガイドをさせて頂いたのとは大違いで、至らないところを痛感する毎日です。

現在、綿密に組まれた養成講座と皆さんの丁寧なご指導により、なんとか新町通のガイドができるようになったレベルですが、少しずつガイドが楽しくなってきたように思います。

今後は、まだまだ経験不足ではありますが、その知識の押し売りではなく、「おもてなしの心を持って帰っていただく」という気持ちを大事にし、お客様にまた来たいとおっしゃっていただくように努めたいと思います。

今後ともご指導よろしくお願い致します。

森島 清香

四年前に初めて近江八幡を訪れ、尾賀商店さんで浴衣作りのワークショップの先生をさせて頂いた事になりました。半年程京都から通い、生徒さんたちが完成させた浴衣を着付けて、皆で八幡堀まつりに出掛けました。それまでは駅とお店との往復だけだったので、その日初めて、近江八幡の街中をじっくりと歩きました。近江八幡に永住しよう。芽生えていた気持ち、その時に固まりました。近江八幡に通う内に奥村邸

と関わり、「まつせ」と繋がった事により歴史や文化に興味を持ち、目に留まったのがボランティアガイド養成講座です。私の好きな街をもっと知りたい。深い歴史、素敵なお店、あたたかい人たちの事を自分なりの言葉で、訪れる方に伝えていきたい。そう思っています。近江八幡に引越してきてまだ半年。まだまだ知らない事の方が多いですが、頑張つて勉強していこうと思います。これからよろしくお願いいたします。

